

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 75

2014年3月18日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、渡邊実先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. イノベーション対話促進プログラム「静岡大学事業報告会」を開催します
2. 「BIO tech 2014」に出展します

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更していただきます。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

- 
1. 文部科学省「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業（イノベーション対話促進プログラム）」静岡大学事業報告会を開催します  
< [http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno\\_event001571.html](http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event001571.html) >

静岡大学イノベーション社会連携推進機構では、異（様々な年齢や技術分野の参加者）の融合からイノベーションを生み出すべく、独自の手法で、3回の対話型ワークショップを開催してきました。

第1回は「こんなことができたならあんなことをしてみたい」をテーマとした“まだないニーズ”の創発、第2回は「それってどういうこと」を深掘りする“まだない事業”への創発、第3回は“具体的な研究課題”の検討を行いました。

本報告会では、静岡大学等の進めるCOI-S「時空を超えて光を自由に操り豊かな持続的社會を実現する光創起イノベーション研究拠点」への提言に繋げるべく、本事業で取り組んだ成果をご報告します。

ぜひ多くの皆さまにご参加いただきたくお待ち申し上げます。

日時 2014年3月19日（水）15：00～19：00（受付開始：14：30）

会場 アクトシティ浜松 コンgressセンター4階41会議室

プログラム

【第1部 事業報告会】 15：00～17：00

1. 開会挨拶 静岡大学 副学長（社会・産学連携担当）  
イノベーション社会連携推進機構 機構長  
木村 雅和（プロデューサー）
2. 来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課  
大学技術移転推進室 室長補佐 塚本 英則 氏
3. 事業報告 静岡大学 イノベーション社会連携推進機構  
客員教授 藤田 武男（ファシリテーター）
4. メッセージ 【対話プログラム 参加企業代表】  
浜松ホトニクス株式会社 常務取締役 中央研究所長  
原 勉 氏（コアプレイヤー）
5. メッセージ 【対話プログラム 参加生徒代表】  
静岡大学教育学部附属浜松中学校3 年  
藤澤 拓海 さん、澤 康一 さん
6. 今後に向けて 木村 雅和

【第2部 情報交換会】 17：30～19：00

参加費 無料 ※情報交換会は3,000円

詳細/申込 [http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno\\_event001571.html](http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event001571.html)

お名前・ご所属・ご連絡先をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお送り下さい。

問合せ 静岡大学イノベーション社会連携推進機構  
TEL : 053-478-1414 FAX : 053-478-1711  
E-mail : coi-ws[at]cjr.shizuoka.ac.jp

---

## 2. 「BIO tech 2014」に出展します

日時 2014年5月14日(水)～16日(金) 10:00～18:00  
会場 東京ビッグサイト  
静岡大学の出展・発表内容  
○「新規光化学的がん治療薬の開発」  
静岡大学大学院 工学研究科 准教授 平川 和貴  
○「微生物を利用した新規蓄放電物質の開発」  
静岡大学大学院 工学研究科 教授 二又 裕之  
○「グアニン四重鎖結合タンパク質によるテロメア長の制御」  
静岡大学大学院 理学研究科 講師 大吉 崇文  
詳細 <http://www.bio-t.jp/>  
問合せ 静岡大学イノベーション社会連携推進機構  
TEL : 053-478-1701 FAX : 053-478-1711

---

## 《 みんなのコラム -69- 》

記：工学研究科電気電子工学専攻 准教授 渡邊 実

私達は現在、集積回路技術に光学技術を加えた光電子デバイス、光FPGA (Field Programmable Gate Array) の研究を進めています。集積回路技術は日々進歩し続けていますが、小さくしていったトランジスタの絶縁膜厚は原子サイズの物理的限界に近づきつつあり、これまでとは明らかに異なる真の限界点に達しつつあります。私達はこの限界点に達しても集積回路の性能が高められるように光FPGAの研究を進めています。

私は企業時代、組み込みシステム向けの耐環境性を有するコンピュータシステムの設計を担当していました。この設計の中で周辺LSIの1つとしてGPLDに加えてFPGAも使用するようになり、大学に戻ると決めたときから、学術的に新しい事として、FPGAの高性能化に取り組むたいと考えていました。そのような中で光技術を用いるというアイデアに至りました。幸い、着任した研究室の先生が寛容で研究の遂行を全面的にバックアップして下さい、私が企業から大学に移った2000年1月から、光FPGAの研究をゼロからですが、スタートさせることが出来ました。

私達が企業と共同研究を行なうようになったのは、まだ業績も少なく、慢性的に予算難であった2004年頃からです。そこまでの業績で何とかJSTの育成研究に採択されたことをきっかけに共同研究をスタートさせました。この共同研究では企業の方々から数々のアドバイスを頂き、今日の研究の根幹をなす研究成果が多数生まれました。共同研究における研究の加速を感じたものです。光FPGAはの実用化はまだ先ですが、今後も、集積回路やFPGA技術の進歩に貢献できるように本研究に力を入れていきたいと思っています。皆様からのご指導をよろしくお願い致します。

---

## << 編集後記 >>

現在、静岡大学イノベーション社会連携推進機構が中心となって進めてきた文部科学省イノベーション対話促進プログラムの取り組みについて、「静岡大学テレビジョン」のWEBサイトからご覧いただくことができます。「静岡大学テレビジョン」(略称：静大TV)は、2013年4月に創設されたクラウド&コンピューティングによるWEB動画サイトです。

静岡大学情報基盤センターが中心となって活動しており、静岡大学の活動やイベントなどを、多くの方に動画でダイナミックにお伝えすることを目的としています。ぜひ一度ご覧ください。

■ 静岡大学テレビジョン  
<http://sutv.shizuoka.ac.jp/>

\* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* -

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) までお願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

### 発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構  
編集：原典子  
発行責任者：木村雅和  
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1  
TEL 053-478-1414  
URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

\* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* -

Copyright (c) 2008-2014  
Organization for Innovation and Social Collaboration,  
Shizuoka University. All rights reserved